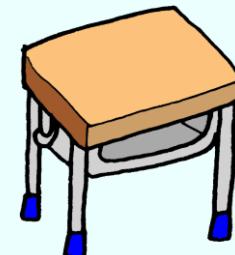




南部地域



市立小・中学校の 将来のあり方について

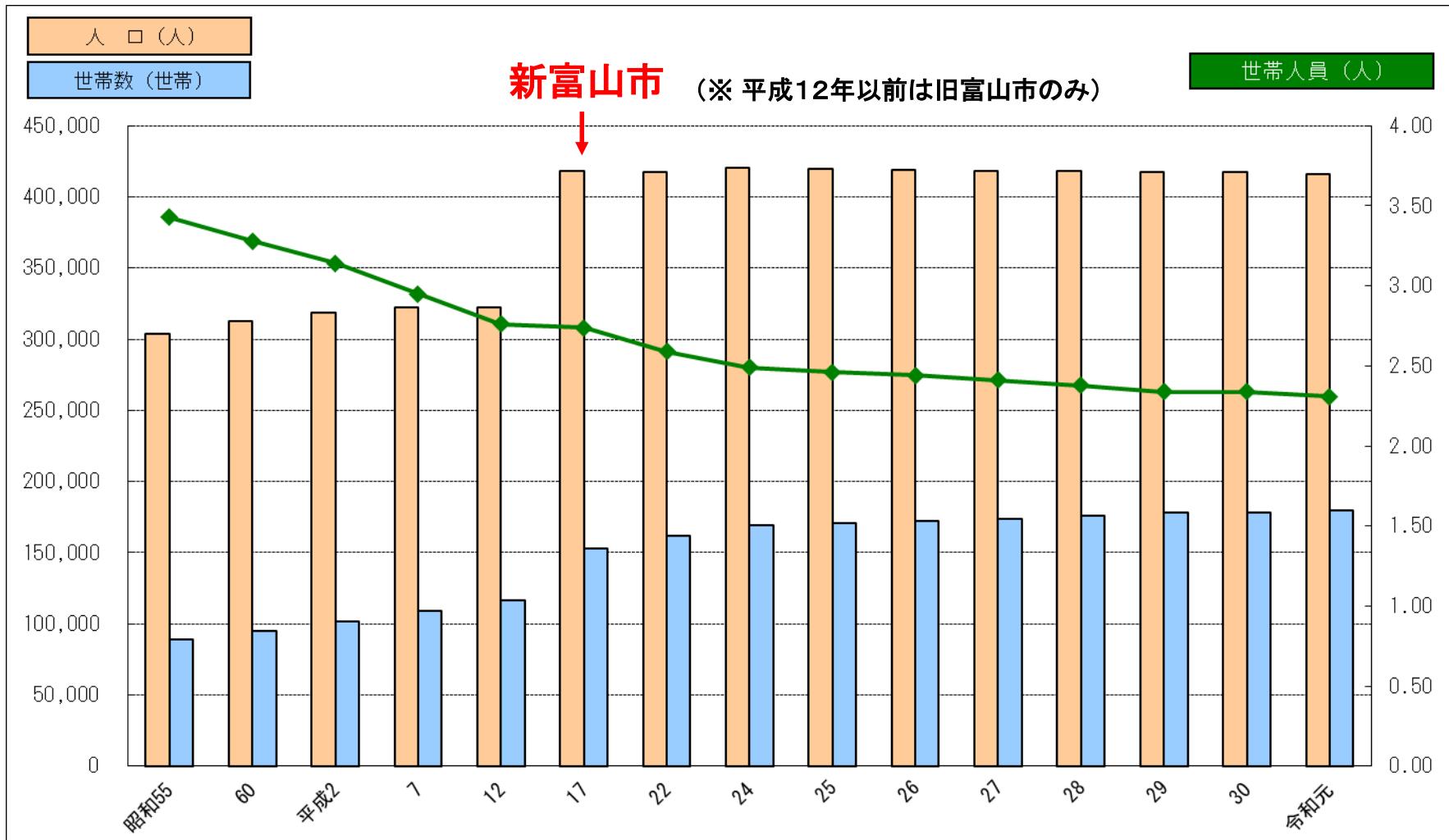


富山市教育委員会

1富山市全体の状況

(1) 人口の推移

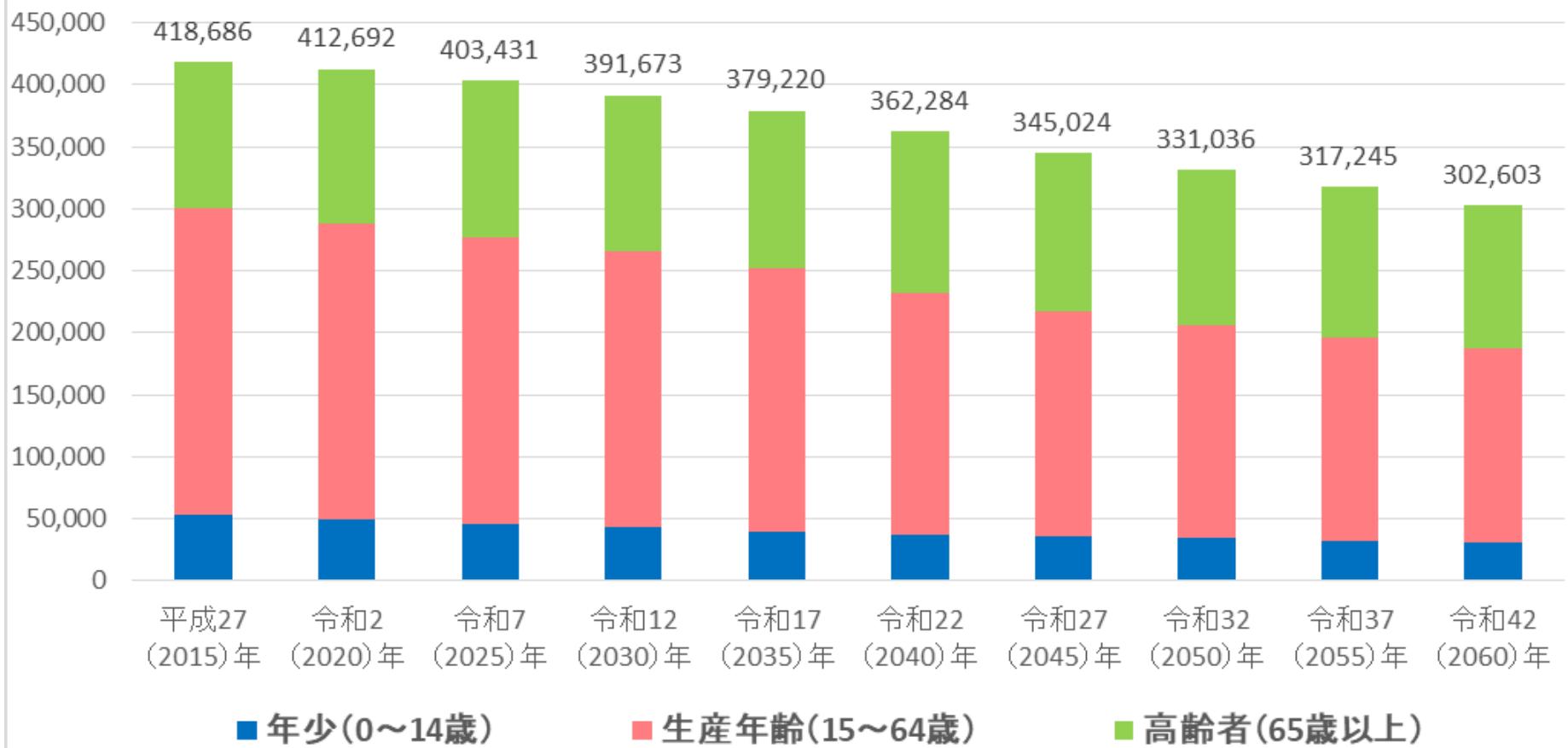
※ 各年9月末



1富山市全体の状況

(1) 人口の推移

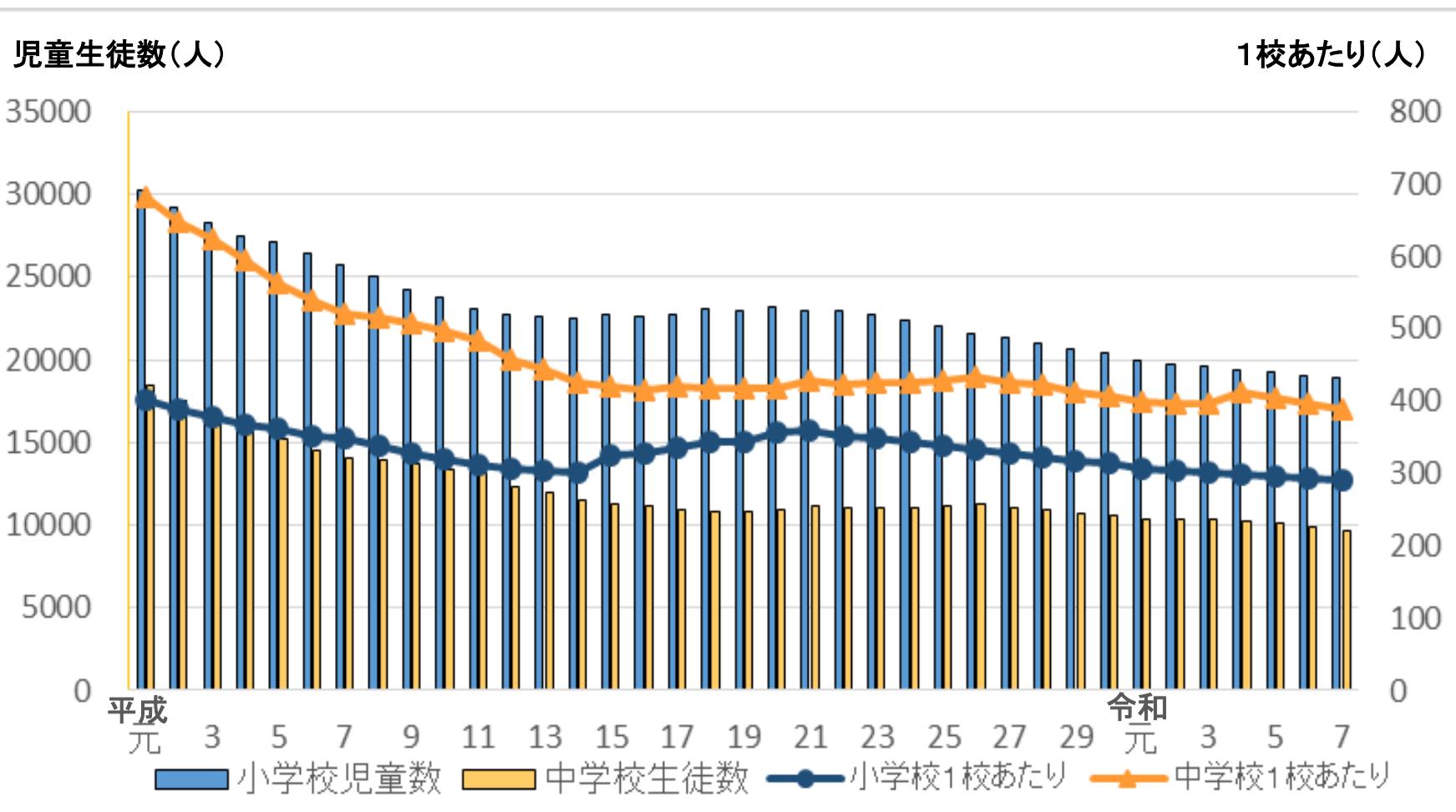
人口(人)



※「富山市公共施設マネジメント アクションプラン戦略編」の人口推計を基に作成

1富山市全体の状況

(2)市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

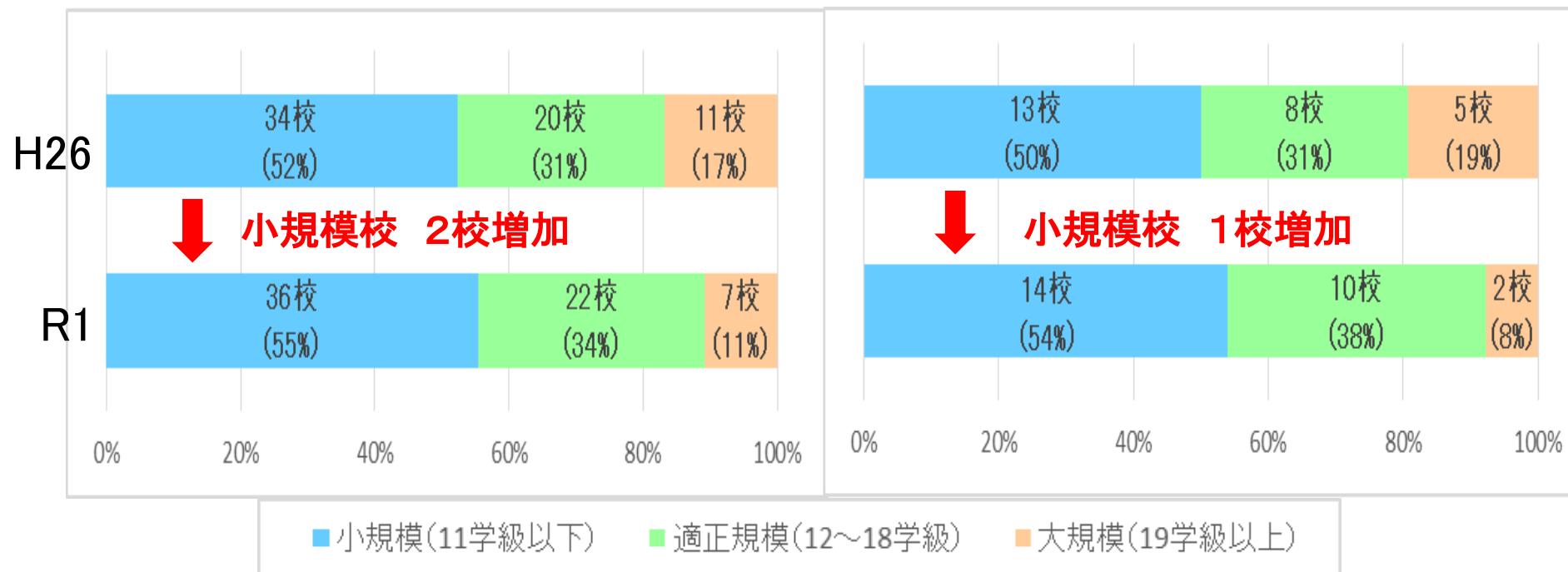
(3)市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり 12～18学級

（※学校教育法施行規則）

小学校

中学校



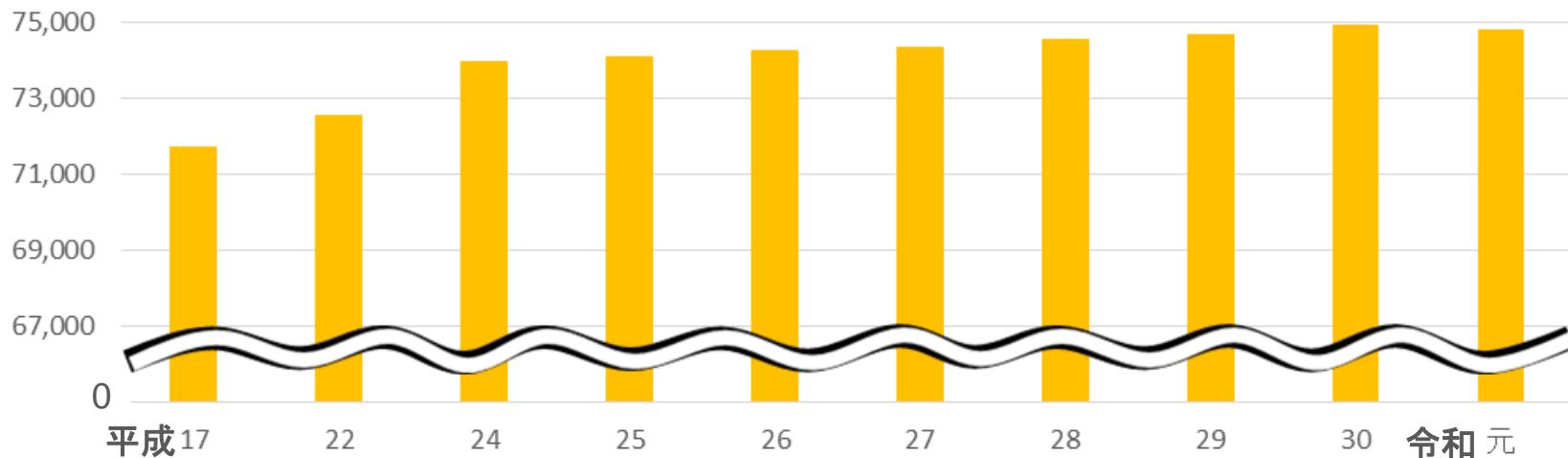
市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 南部地域の状況

(1) 人口の推移

人口(人)

85,000
83,000
81,000
79,000
77,000



【内訳】

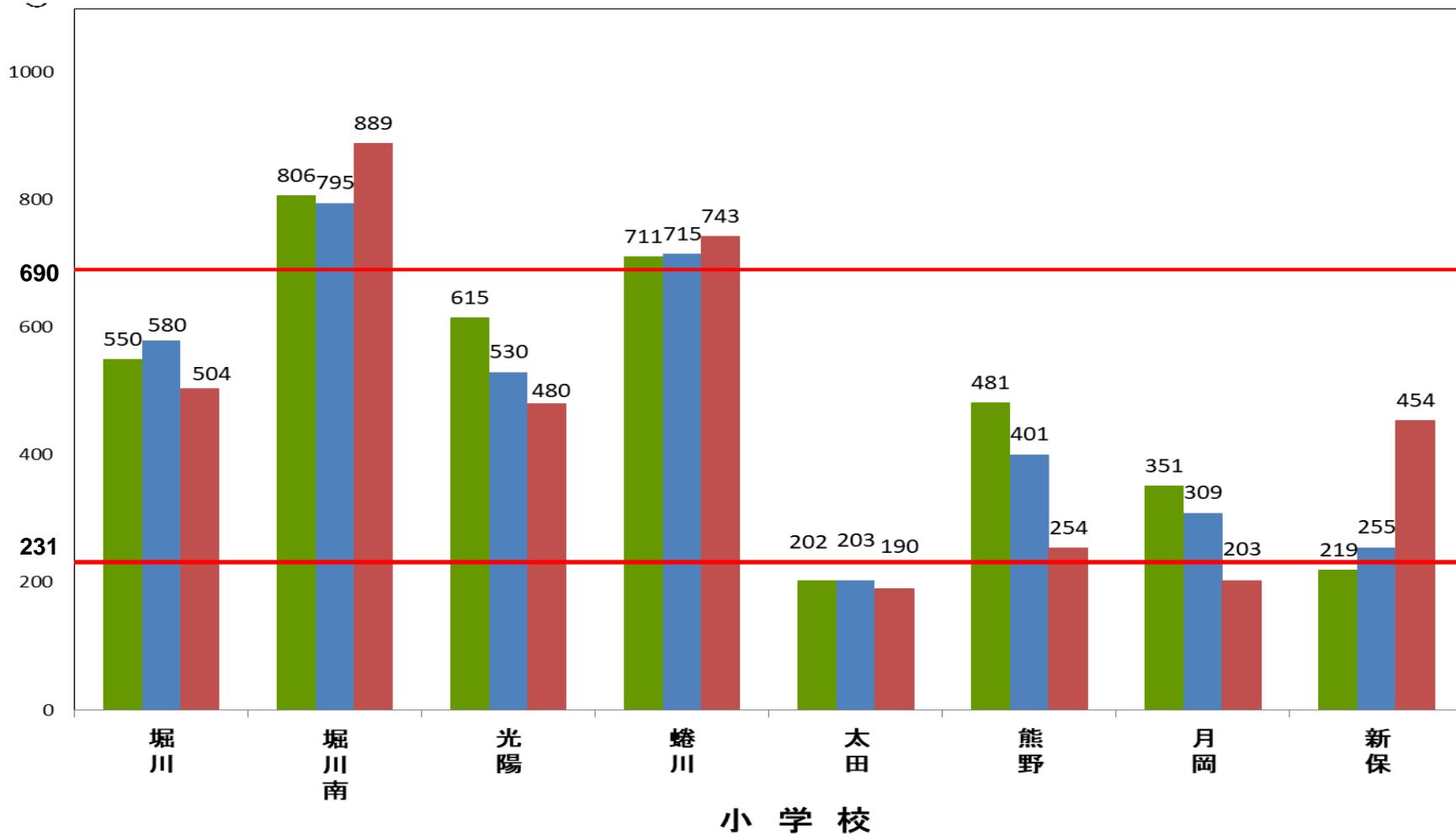
	H17	R1	
堀川地区	11,759人	11,867人	+ 108人
堀川南地区	12,828人	15,018人	+2,190人
光陽地区	8,238人	8,883人	+ 645人
蜷川地区	12,674人	14,008人	+1,334人
太田地区	6,599人	5,946人	△ 653人
熊野地区	7,666人	7,261人	△ 405人
月岡地区	7,730人	6,574人	△1,156人
新保地区	4,224人	5,234人	+1,010人

※ 各年9月末

2 南部地域の状況

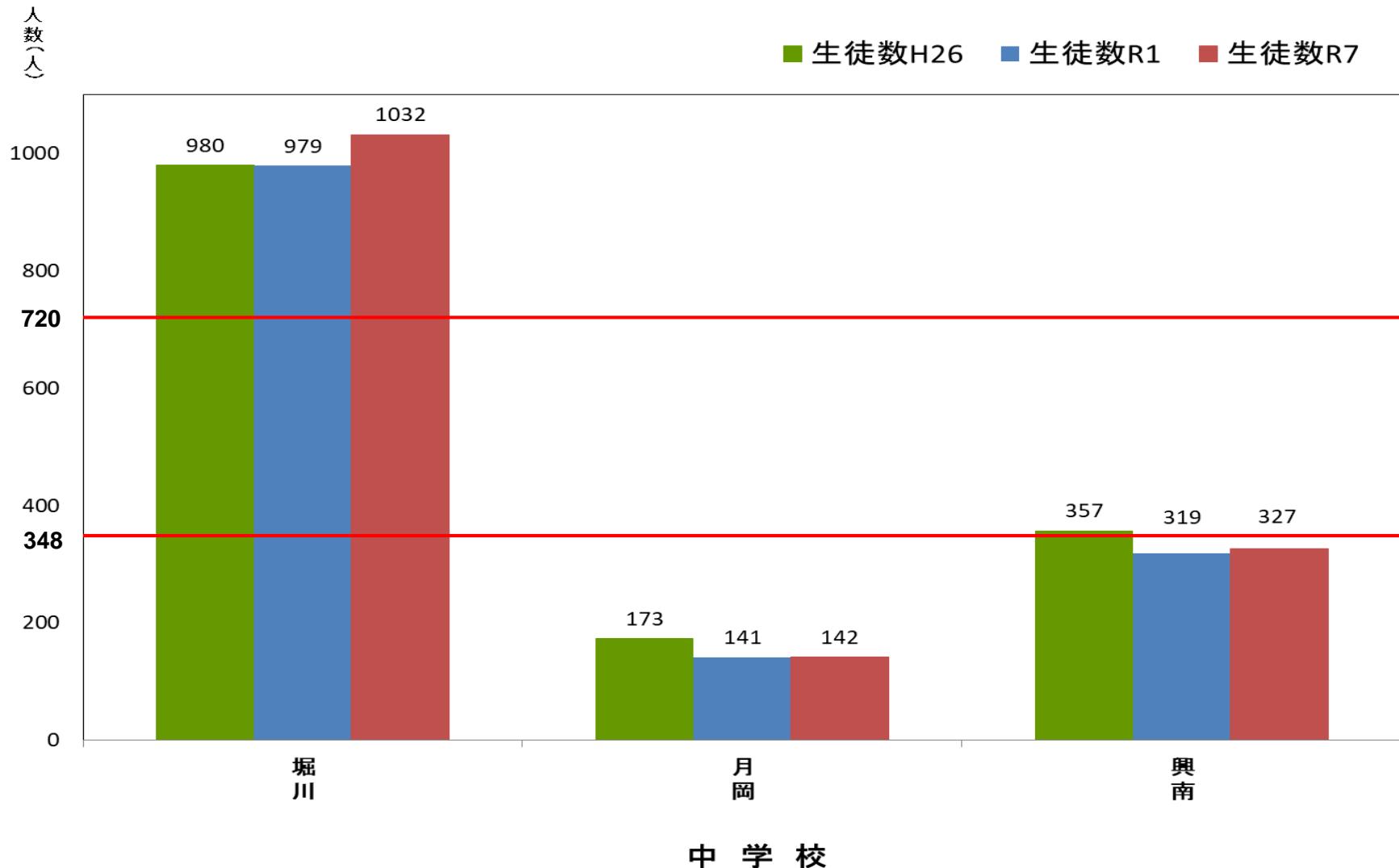
(2) 児童生徒数の推移(見込み)

人数(人)



2 南部地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 南部地域の状況

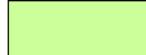
(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
堀川小	H 2 6	17	105	95	91	70	90	99	550
	R 1	17	99	98	103	99	79	102	580
	R 7	18	78	72	83	87	87	97	504
堀川南小	H 2 6	26	149	155	127	130	122	123	806
	R 1	24	114	157	133	138	114	139	795
	R 7	27	141	146	138	148	141	175	889
光陽小	H 2 6	19	89	117	86	98	122	103	615
	R 1	18	80	81	100	87	93	89	530
	R 7	16	87	77	70	94	84	68	480
蜷川小	H 2 6	21	131	120	125	115	110	110	711
	R 1	22	106	117	133	122	108	129	715
	R 7	24	125	126	125	123	122	122	743
太田小	H 2 6	6	30	31	34	31	39	37	202
	R 1	6	32	34	33	34	40	30	203
	R 7	7	35	25	33	18	46	33	190
熊野小	H 2 6	16	76	82	87	88	76	72	481
	R 1	13	53	57	62	87	67	75	401
	R 7	10	40	38	40	46	55	35	254
月岡小	H 2 6	12	66	54	59	57	58	57	351
	R 1	12	42	41	54	57	48	67	309
	R 7	8	17	28	32	36	45	45	203
新保小	H 2 6	7	50	30	29	38	33	39	219
	R 1	10	48	46	43	35	35	48	255
	R 7	14	75	86	79	79	68	67	454



大規模 (19学級以上)



適正規模 (12~18学級)

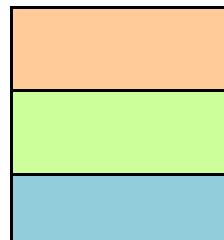


小規模 (11学級以下)

2 南部地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み) 生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
堀川中	H 2 6	26	331	318	331	980
	R 1	25	351	322	306	979
	R 7	27	316	359	357	1,032
月岡中	H 2 6	6	63	53	57	173
	R 1	5	49	51	41	141
	R 7	6	43	44	55	142
興南中	H 2 6	11	135	122	100	357
	R 1	9	102	106	111	319
	R 7	10	107	109	111	327



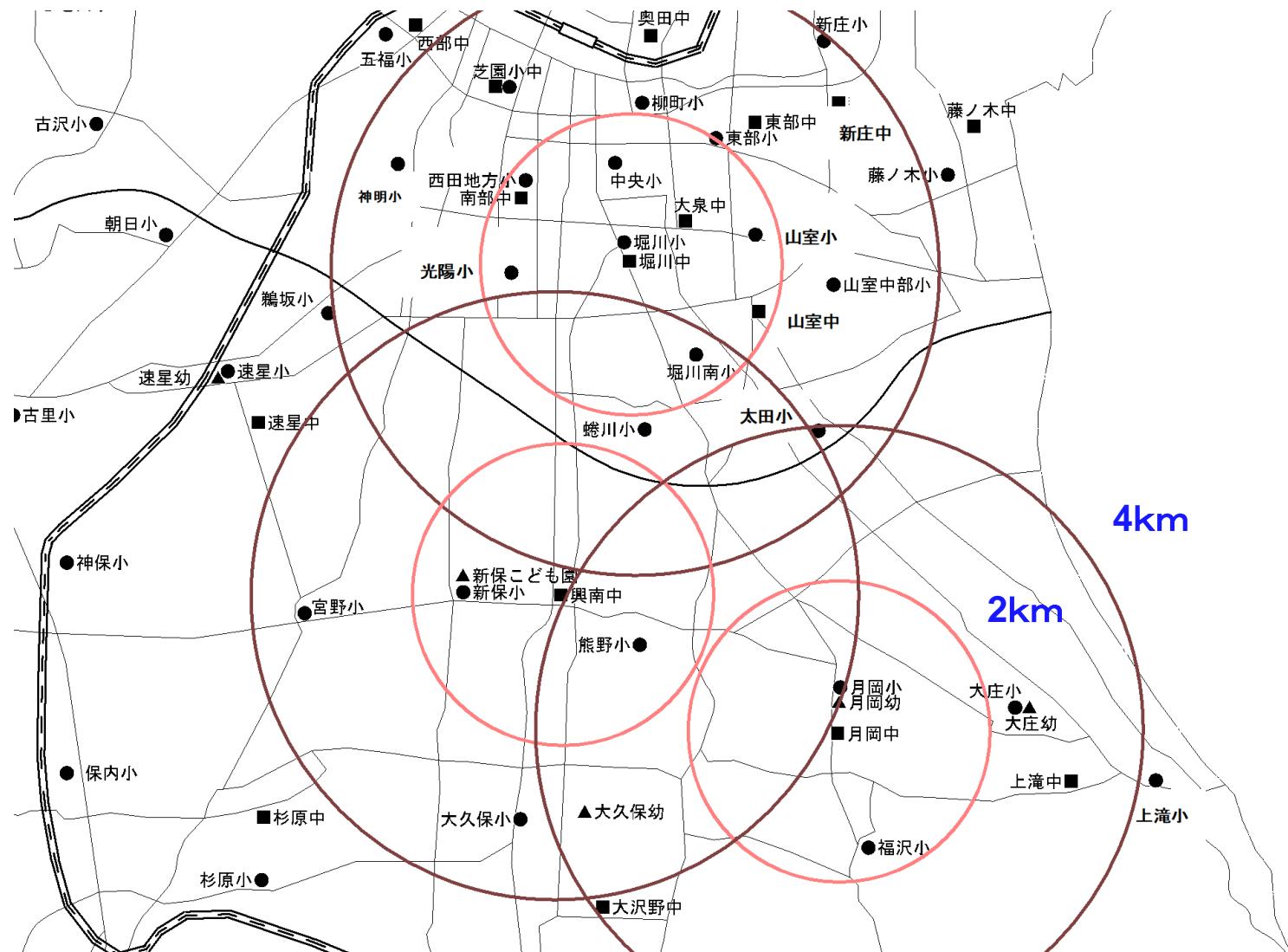
大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)

2南部地域の状況

(4)学校の位置



2 南部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

堀川小

R1 校舎改築工事実施設計
R2～ 校舎改築工事

堀川南小

H15 校舎大規模改造竣工
H22 体育館増改築竣工
R1～R2 校舎増築工事

光陽小

H14 西田地方小、堀川小、蜷川小の
3小学校区の一部が統合し、
開校(新築)

蜷川小

H21 校舎大規模改造竣工

2 南部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

太田小

H28 校舎改築・大規模改造竣工

熊野小

H26 プール改築竣工

H29 耐震補強工事竣工

月岡小

H27 プール移転改築竣工

R1～R3 校舎改築工事

新保小

S63 校舎改築竣工

R1 プール改築工事実施設計

2 南部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

堀川中

H14 校舎大規模改造竣工

H15 校区の一部変更

(光陽小校区が南部中校区に)

月岡中

S58 校舎改築竣工

興南中

S58 学校組合立大久保中学校が閉校

旧大沢野町(大沢野中)と旧富山市に分離

富山市立興南中学校開校(新築)

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- ・クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- ・体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- ・経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- ・複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- ・教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- ・9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。
※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人
⇒ 9教科10科目の対応が難しい
- ・開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 小規模特認校制

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

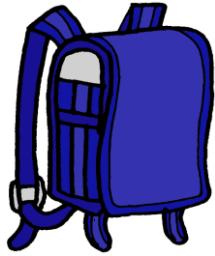
- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置



南部地域



市立小・中学校の 将来のあり方について

～おわり～

ご清聴ありがとうございました

